



ベトナム コーナー 地域おこし協力隊 ファム・ティ・モさん



皆さん、こんにちは！モです。

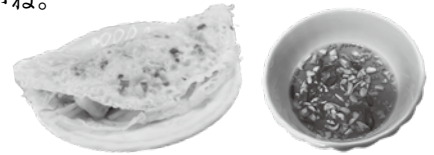
6月20日に町民会館で「ベトナム文化に触れてみよう！」という国際交流事業を行いました。

参加してくれた皆さんに、ベトナム料理に興味を持ってもらいたくて、米粉や豚バラ肉などを使った「[バインセオ](#)」を紹介しました。

私のお手本を見てもらいながら、バインセオの作り方と食べ方を説明しました。その後、実際に調理を楽しんでもらって、皆さんと一緒に食べました。

参加した人たちからは「パリパリでおいしい」、「手作りのタレがうまい!」「これ、大好き!」などの声をいただき、とてもうれしかったです。

作り方は簡単なので、初めての人でも、上手に作れると思います。日本でもバインセオの材料を買えますので、好きな方はぜひ、自分の家で作ってみてくださいね。



もせうし Photoニュース

あま〜い！小学生がイチゴ狩り



おいしそうにイチゴを味わう小学生

妹背牛小学校の1、2年生が6月26日、町内のふれあい農園を訪れ、イチゴ狩りを楽しみました。真っ赤に実ったイチゴを摘み取った子どもたちは「甘くて、おいしい」と、笑顔でお喜びました。

町内の小学生は、農業体験を通じて食べ物大切さを学んでいます。

この日、農業技術指導員の佐藤悟さんから説明を受けた子どもたちは、大粒のイチゴ「けんたろう」の収穫を体験しました。

青空の下でナイスショット！



パークゴルフを楽しむ参加者たち

町老人クラブ連合会主催の第19回パークゴルフ大会が6月20日、遊水公園PG場で開かれました。この日は近くのテントで焼き肉まつりも開かれ、計81人がパークゴルフと昼食の焼き肉を楽しみながら、親ぼくを深めました。

参加者たちは3〜4人1組のグループに分かれて、27ホールストロークプレーで競技。空知地区老人クラブ町対抗PG大会の選考会も兼ねており、男女の部でスコアを競い合いました。

PG協会 創立30周年記念式典

創立30周年記念 式典祝賀会



記念式典であいさつする宇南山会長

創立30周年を迎える町パークゴルフ協会（宇南山健次会長、会員48人）は7月5日、町民会館で記念式典・祝賀会を開き、関係者が節目を祝いました。式典には、会員、来賓の計41人が出席。冒頭、宇南山会長が「今後も大地の緑を感じながら、健康増進、体力向上を目指してください」と述べました。功労者として、歴代会長（平成22～27年）の石原敏之さんと、歴代副会長（同22～29年）の齊藤友吉さんを表彰しました。

「生花リレー」で生産地をPR



生花の前で田中町長（左）と談笑する原さん

北空知6市町の花き生産者でつくる「北育ち元気村 花き生産組合」は、管内の各自治体に生花を届ける「生花リレー」を展開し、花きの生産地をPRしました。このうち、町内では妹背牛支部長の原力哉さんが7月10日に、地場産のHBSシネンシスやアリウムなど10種類の花を組み合わせたフラワーアレンジメントを寄贈。花の前で田中一典町長と談笑する場面もあり、かわいらしい黄色やピンクの花弁が役場正面入り口を明るく彩りました。

旗の波で安全運転を呼びかけ



黄色い旗を持って安全運転を呼びかける参加者たち

夏の交通安全運動が全道一斉に始まった7月13日、妹背牛町内では、道道深川雨竜線沿いのわかち愛もせうしひろば前で旗の波街頭啓発が行われました。交通安全協会や老人クラブ連合会、北いぶき農協女性部などの各団体から50人が参加。「安全運転」と書かれた黄色い旗を持って沿道に並んだ参加者たちは、道ゆくドライバーに安全運転を呼びかけました。

安全で安心な明るい社会の実現に



メッセージを伝達する梅澤支部長

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域の実現をめざす「社会を明るくする運動」に合わせ、深川地区保護司会妹背牛支部の梅澤見堂支部長ら3人が7月3日、田中一典町長に内閣総理大臣のメッセージを伝達しました。メッセージには、望まない孤独や社会的孤立などによって「生きづらさ」を抱える人たちに寄り添い、安全で安心な明るい社会の実現につながる趣旨の内容が盛り込まれています。

ひき逃げ事故の遺族が講演



事故当時の様子を語る高石さん

町立妹背牛中学校は6月16日、同校体育館で「命の大切さを学ぶ教室」を開き、飲酒運転によるひき逃げ事故で次男を亡くした高石洋子さん、江別市在住の当時の悲しみや法律の厳罰化を求めた署名活動について語りました。

全校生徒51人を前に、高石さんは「次男の親友たちは熱心に署名活動を手伝ってくれました。皆さんも友情を大切にすてきな人生を歩んでください」と呼びかけました。

建設業協会が社会貢献活動



砂の上にブロックを敷き詰める作業員たち

町内の建設会社15社でつくる「妹背牛建設業協会」は6月21日、社会貢献活動の一環で町役場前の通路を補修しました。

経年劣化に伴う通路の凹凸を解消するため、作業員15人が6時間かけて実施しました。

コンクリート製のブロックを一つひとつ取り外して洗浄。雨水で流れ出た砂を足すなどして通路の下地を平らにし、ブロックを敷き詰めました。天間敏幸会長は「来庁者が歩きやすくなるように」と話しています。

遺族らが戦没者のめい福を祈る



忠魂碑の前で手を合わせる参列者

戦没者追悼式が6月15日、妹背牛神社境内の忠魂碑前で行われ、遺族らが戦没者のめい福を祈りました。

追悼式には、遺族16人、来賓40人の計56人が参列。173柱の英霊が眠る忠魂碑の前で献花しました。

町遺族会の柳良信会長が「祖国のために尊い命を捧げたご英霊の思い、戦争の悲惨さを継承していきたい」と式辞。参列者たちは平和への気持ちを新たにしていました。

感性光る町民作品展



多彩なジャンルの作品が集まった作品展

芸術文化に親しむ個人・団体の個性豊かな作品を集めた町民作品展が6月16日～22日の日程で、町民会館で開かれました。

木工芸品や陶芸を楽しむ個人をはじめ、文化サークルや介護福祉施設などの団体が多彩なジャンルの作品を展示。やわらかな光を演出したステンドグラスや毛糸で編んだかわいらしい動物のマスコット、四季の移ろいを感じさせる写真、力強い筆遣いの書などが、訪れる人たちの目を楽しませました。